

## 社会人としての勉強方法を考える

開倫塾

塾長 林 明夫

Q : 社会人としての勉強の仕方は、20歳、30歳、40歳、50歳、60歳、70歳、80歳、90歳と年代によって異なるのか。

A : (1) 変わらない。

(2) 1日の生活の大半を先生から直接教えて頂き学ぶ、学校というところではなく、ほぼ自分の力で自主的に学ぶのが社会人。年代は関係ない。

(3) 学生時代と社会人に共通して必要なのは、自分の力で自主的に学ぶ「学ぶ力」。「自主的に学ぶ力」「学力」ということは全く同じ。

Q : 社会人は何のために学ぶのか。

A : (1) 仕事、社会的活動。自分の生活、人生をよりよく過ごすため、よく生きるため

(2) 仕事や社会的活動をするために学ぶのなら、それぞれに必要な本を探すこと。定評のあるテキスト、代表的なテキスト、参考書、試験を受けるのなら過去問集、予想問題集などを手元に置くこと。中学生や高校生、大学生が学校で学ぶように、丁寧にテキストを読むこと。試験を受けなければならないときは学校の定期テスト対策や模試対策をするように過去問を学習し、本試験に臨むこと。

Q : 仕事や社会的活動としてではなく自分の人生をより豊かにするために学ぶときはどうしたらよいか。

A : (1) 新聞を読む。本を読む。この2つのことが大事、自分の家以外ではどこで読んだらよいか。

(2) 図書館で読む。図書館に毎日行くこと。毎月行けないときは、週に数回は行くこと。

① 近くの公共図書館—県立図書館—市や町の図書館—他の市や町の図書館

② 大学の図書館

\* 手続きさえすれば大体の大学図書館は利用できる。行く前にインターネットでどこにあるかや開館日を調べる。

③ 図書館に行きふだん目にしない新聞・雑誌を見学(読む)。音楽や映像にふれる。

(3) 書店に行き本を買い読む。書店に毎日、または、毎週1~2回は行く。

① 新本を買う

②古本を買う→古本はインターネットで買える。

㊦自分の家で新聞を丁寧に読む

- ・1日前の新聞1つの記事は必ずスクラップする。
- ・切り抜きノートに貼り付ける。

㊧自分の家で本を読む

- ・1か月に1冊は精読する

「古典」と呼ばれる本 Classic(50～100年以上人々に読み継がれている本)

- ┌日本の古典
- ├中国の古典
- ├西洋の古典
- └いろいろな国の古典

\*古典とは時空を超えた対話をする翻訳や現代語訳で十分だがどうしても古文や漢文、外国語を原文で読みたいければ古語辞典、漢和辞典、英和辞典などの「辞書」を引き引き読む。

\*大事なことは「キーワード」だけでもノートに取りながら読む。1週間に1冊は文庫本や新書本を連読する。

(4)人の話をよく聞く

①直接聞く、TVやラジオで聴く

②いろいろなところに行き、見学させてもらう。TV番組、ラジオ番組でもよい勉強になる。

(5)もう一度学校で先生から教わる

①公民館、シルバー大学

②大学や大学院の聴講生→社会人大学

③放送大学の学生

**Q：おわりに一言**

A：(1)テーマごとに「ノート」だけはつくる

①「ノートブック」にする

②本、ノートは繰り返し読む。6～7回は必ず読み返す

③しばらく勉強したら今まで学んだことを時間をかけて振り返る(リフレクション)。

④人に話したくなったり、教えなくなったらよく準備ををし、志ある人に、語りかけ、教える

⑤「書き取り読書ノート」に気に入った語句や文章を書き抜き、繰り返し読む

(2)テーマは1つだけでなく、2～3、3～5といくつかつakっておく

(3)できれば外国語でも学んでみる

①英語の本も、1日何ページか辞書を引いて、コツコツ読んでみる

②本体、意味がわかったところは、音読や書き取りの練習もしてみる

③その本にCDがついていたら、自動車の中などで聴いてみる

以上